

司書が本を 紹介します！



市立図書館職員ブックトーク派遣事業

「ブックトーク」は、あるテーマに沿って複数の本を紹介します。
全部を読むわけではありません。
一部を読んだり、挿絵を見せたり、クイズをしたり。
そうすることで普段なら手に取らないような本
への「読みたい気持ち」がうまれます。



たとえば「言葉」がテーマなら、
そこからテーマを広げて古典の
現代訳本、歌詞の本なども紹介
したことがあります。

紹介した後は一か月程度貸出する
のですぐ手に取ることが出来ます。

単元と同じテーマで紹介した本
に興味をもてば、自分で調べる力が
つくチャンスです。



読みたい気持ちや知りたい気持ち
ブックトークで育ててみませんか？

問合せ先：八幡浜市立保内図書館
電話番号：36-3050

<ブックトーク派遣の流れ>

1、図書館へ希望日時、対象人数（学年）、テーマをお知らせください。

ブックトークは大人数には向いていません。紹介する本が見えなくなってしまうので、多くても50名程度が望ましい人数です。
テーマが特にならない場合はこちらで決定します。

なお、準備期間が必要ですので、ご依頼は1ヶ月前までをお願いします。



2、日程が決まったら職員が出向いてブックトークを行います。

※プロジェクタなど必要なものがある場合は、当日までにこちらから連絡いたします。

☆ブックトーク一例

テーマ『ともだち』（対象：小学生）

『こぎつねコンとこだぬきポン』松野正子/文 二俣英五郎/画 /1977.9/童心社

『ぼくの・トモダチのつくりかた』さとうまきこ/作 杉田比呂美/絵 /2004.4/ポプラ社

『きえた学校ぼっこ』三田村信行/作 岡本颯子/絵 /2002.7/フレーベル社

『オウエンとムゼイ』イザベラ・ハトコフ/グレイグ・ハトコフ/ポーラ・カフンブ/著/ピーター・グレスト/写真 ベッキー/訳 /2006.12/日本放送出版協会

『あのとき すきになったよ』薫くみこ/作 飯野和好/絵 /1998.5/教育画劇



テーマ『生きていくこと』（対象：中学生）

『数字でみるとリアルにわかる 人生の確率』小島寛之 監修/2006.11/宝島社

『恋に導かれた観光再生 奇跡のバリアフリー観光誕生の秘密』中村元 著/2006.12/長崎出版

『マジックアウト 1 アニアの方法』佐藤まどか 著/2011.9/フレーベル館

『三びきのコブタのほんとうの話』ジョン・シスカ文/レイン・スミス絵/いくしまさちこ訳/1991.11/岩波書店

『カラフル』森絵都 著/1999.7/理論社



3、終了後1ヶ月程度ブックトークで紹介した本やテーマに関する本を貸出します。

お手数ですが返却は市民または保内図書館までお願いします。